

がんセンター 便り



宮城県立がんセンター地域医療連携室

ご挨拶



宮城県立がんセンター
総長 西條 茂

例年になく雪が多かった冬も過ぎ、暖かな風薫る季節となりました。

昨年は集学治療棟の開棟に際し完成式典、祝賀会、見学会など皆様にはご多忙中のところお出でいただきまして誠に有難うございました。お蔭様で集学治療棟におけるPET-CT、IMRT専用放射線治療機器であるトモセラピーそして拡充した外来化学療法室は半年を経て順調に稼働しております。

また卵子保存相談外来を秋に開設し相談件数も徐々に増加しています。

さて今年度のがんセンターですが、放射線治療医が3名、物理士が1名増で2名となりトモセラピーの稼働をさらに増すこと、5月には腫瘍内科医が1名増で3名となり外来化学療法室がさらにパワーアップします。PET-CT と共にごがん医療にどうかご利用いただきたいと思っております。手術件数も増加しておりますが、形成外科医も2名となり乳房再建術も積極的に行う予定です。

もう一点、がんセンターで「がん」と診断されてから治療開始まで待たされるのががん患者の皆様にとりまして大きな苦痛です。がん患者の皆様は高齢者が多く合併症も多いのですが、その精査も怠ることなく可能な限り速やかに治療を開始するよう職員には話しています。

今年度も職員一同、がん患者の皆様のために頑張りますのでどうかよろしくお願い申し上げます。



集学治療棟



トモセラピー



化学療法室

研究所ニュース

※島 礼 部長（薬物療法研究部）が宮崎大学との共同研究で成人T細胞白血病に関する新知見を発表しました。Nature Communication 誌に掲載。（2014.3.19）

※前門戸 任 医療部長が第2回「後藤喜代子・ポールブルダリ科学賞」を受賞しました。対象論文は「Gefitinib or chemotherapy for non-small-cell lung cancer with mutated EGFR. (N Engl J Med 2010; 362: 2380-8)」(2014.4.18)

外来新患診療体制表

平成26年5月現在

(宮城県立がんセンター)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
消化器科	新患	●	●	●	●	●
	専門外来	肝臓	肝臓	上部・胆膵	肝胆膵・下部	上部消化管
血液内科		●	●	●	●	●
腫瘍内科		●		●		
呼吸器内科		●	●	●	●	●
呼吸器外科			●	●		●
乳腺科		●			●	
消化器外科			●	●		●
整形外科			●		●	●
脳神経外科		●		●		●
頭頸科(耳鼻咽喉科)		●	●		●	
形成外科			●			●
婦人科		●	●		●	
泌尿器科		●		●	●	
放射線治療科		●	●	●	●	
緩和医療科				●		●

*消化器科では、専門外来の診察日にも紹介患者さんの予約を受け付けております。お申し込みの際にご確認下さい。
診療受付時間：午前8時30分～11時00分 TEL 022-384-3151(代) FAX 022-381-1169 (地域医療連携室)

交通案内

J 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用
R 桜交 名取駅西口から「県立がんセンター線」(なとりん号)を利用
仙南交 名取駅西口から「北目上原線」(なとりん号)を利用
自家用車 仙台南インターからは、国道286号バイパス経由
県道仙台・岩沼線を利用 (所要時間約15分)

地域医療連携室のご案内

地域医療機関の先生方からご紹介を受けた患者さんの診療予約をお取りしてスムーズな受診ができるようにしております。

○受付 午前8時30分～午後5時15分
○TEL (022) 381-5152(直通)
(022) 384-3151(代) 内線115
○FAX (022) 381-1169

宮城県立がんセンター
〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1
電話(代表) (022) 384-3151 FAX(企画総務課) (022) 381-1168

ロゴマークの3本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表わしています。3本の柱が、患者さんを支えるという意味です。



乳房再建の保険適応について

形成外科 後藤 孝浩

乳房の再建方法には、自家組織移植によるものと人工乳房による再建の大きく二通りがあります。自家組織移植による再建はほぼあらゆる形状の乳房の再建が可能ですが、手術侵襲が大きく移植組織採取部（腹部など）にも手術痕が残ります（図1）。人工乳房とは美容目的の豊胸術で用いられるシリコン製インプラントのことで、再建できる乳房の大きさや形状に限界があり、残存皮膚に余裕がないときはあらかじめ組織拡張器（エキスパンダー）による皮膚伸展が必要になりますが、手術侵襲は小さく通常は乳癌の手術以外の痕は残りません（図2）。どちらの方法を選ぶかは、乳房の大きさ、体格、年齢や術後治療の内容（放射線治療の有無など）、また患者さんの希望などを考慮して選択していきますが、これまで人工乳房は保険適応外でした。

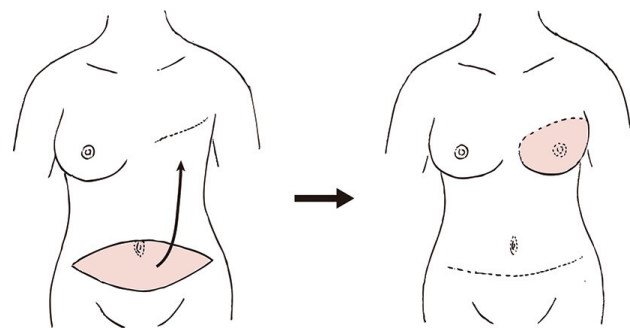
しかし昨年からは人工乳房も保険適応となったことで、今まで乳房再建を躊躇していた患者さんも経済的な理由なしに乳房再建の方法を選択でき、また最近では乳癌の手術（全摘）と同時に再建を開始することも可能となっています。

新たに保険適応となった人工乳房や組織拡張器の使用には施設制限がありますが、当院はそ

の認定施設となっていますので、乳癌手術後の乳房欠損によるQOLの低下や、乳癌の手術によって生じる乳房損失の不安で悩んでいる患者さんがいましたら、当院形成外科または乳腺科にご相談していただければ幸いです。

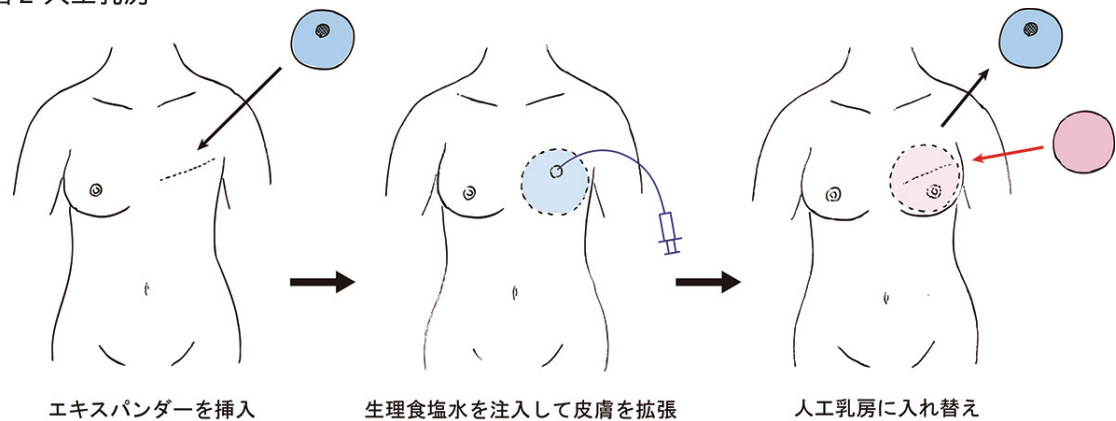
乳癌は罹患率が上昇する一方、生存率も高いため、乳癌治療の中心が手術である以上、乳房を失う女性は今後さらに増えていくと考えられます。人工乳房も保険適応となったことで、乳房を失う心配をすることなく乳癌治療が行えるように、またすでに失った乳房を取り戻すことで乳癌患者さんのQOLが向上することが、形成外科医の願いでもあり役割でもあります。

図1 自家組織移植



腹部の皮膚と皮下脂肪を移植

図2 人工乳房



エキスパンダーを挿入

生理食塩水を注入して皮膚を拡張

人工乳房に入れ替え

新任医師紹介

氏名（よみがな） 診療科名
① 出身地 ② 挨拶・抱負など

鈴木 堅太郎

スズキケンタロウ

整形外科

①仙台
②整形外科の鈴木堅太郎です。生まれは仙台、育ちは秋田の生粋の東北人です。整形外科で扱う悪性腫瘍は、骨に発生する骨肉腫や四肢・体幹に生じる軟部肉腫などが知られています。このような骨・軟部腫瘍と日々向き合い治療を行っていきたいと思います。



田中 峻希

たなか たかき

泌尿器科

①新潟県
②福島県のいわき市立磐城共立病院からH26年4月より異動となり、本院での勤務を開始しております。御紹介等でなにかと御迷惑をおかけするかと思いますが、今後とも宜しくお願い致します。



河合 賢朗

かわい まさあき

乳腺科

①富山県
②上司の助言から疫学に興味を持ち、当院乳腺科、がん登録室、病理部の御厚誼にて英文原著論文を上梓させて頂き、更に勤務させて頂ける事に感謝しております。ここ数年の趣味はマラソンです。今後も周囲の人々・人の縁を大事にし、研究を進め、いつか世界6大マラソンを完走したいと思っております。



佐藤 卓

さとう たく

呼吸器外科

①山形県
②本年4月より宮城県立がんセンター呼吸器外科に赴任いたしました。スタッフの皆様と協力して、より良い医療を提供できるよう努力いたします。どうぞよろしくお祈りいたします。



宮崎 武文

みやざき たけふみ

消化器内科

①宮城県
②4月より消化器内科に勤務しております宮崎です。自治医科大学出身でH22年にも一年間がんセンターで勤務しており2度目の赴任となります。皆様に信頼されるような医療を提供できるよう日々努力してまいります。よろしくお祈りいたします。



退任医師

林 耕宇
整形外科
方山 博路
泌尿器科
深町 佳世子
乳腺科

がんサロン

「たんぽぽ」

がんサロン「たんぽぽ」が4月1日オープンいたしました。国立がん研究センターがん対策情報センター作成の冊子などを常備しています。がん患者さんやご家族同士の交流や情報交換など憩いの場としてご利用ください。また、サロン主催のミニ講座や交流会、ボランティア主催の催し物を行います。

サロンの名称「たんぽぽ」は、可愛くて優しい印象ですが、生命力が強くてどんな過酷な環境下においても人知れず明るく咲いており、癒しの力を持っています。

だれからも愛される「たんぽぽ」のように、多くの方に愛されるがんサロンを目指していきます。
(相談支援センター 星 真紀子)

